

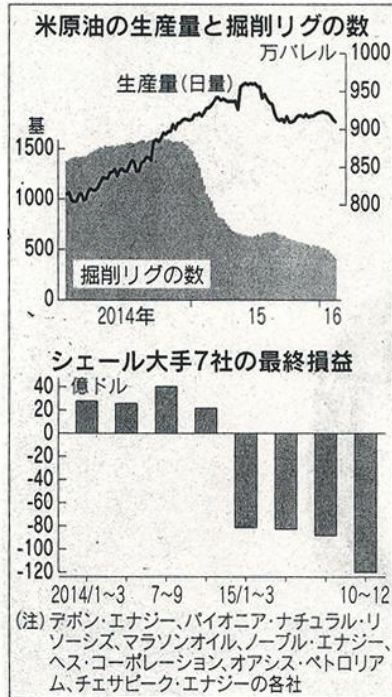
週間国際経済2016（7） 02／21～03／01

- 02/21・英国民投票6月23日に キャメロン首相、EU残留呼びかけ
残留の道より陰しく 閣僚にも離脱論 ロンドン市長「離脱支持」
- 02/23・シリア停戦で米ロ合意 27日から「イスラム国」は対象外
・米朝、平和協定で接触も決裂 北朝鮮、核カードに執着
21日米務省報道官が明らかに 北朝鮮から交渉提案も非核化を拒否
- 02/24・マイナス金利の余波 生保運用、利回り確保難しく逆風一段と
「貯蓄型」相次ぎ販売停止 個人資産、選択肢減る
・円、一時2週間ぶり高値 111円台後半 長期金利は低下続く < 1 >
・東南アジア、輸出急減速 主要5ヵ国、15年13%減 資源安や中国減速で
・訪米中のサウジ石油相、減産に消極姿勢 NY原油、大幅下落31ドル台
・米中外相会談（ワシントン23日）北朝鮮制裁に「重要な進展」南シナ海は平行線
- 02/25・日本、長期金利最低更新 マイナス0.055% 安全志向一段と
- 02/26・米シェール赤字4兆円 昨年の大手7社、黒字から一転 < 2 >
・国勢調査で初の人口減 5年で94万人減少 人口減の波、大都市にも < 3 >
- 02/27・シリア「一時停戦」発効 大規模衝突なし なお臨戦態勢
・米が北朝鮮制裁を安保理提出 党・軍に標準 金正恩体制に打撃
- 02/28・G20財務相・中央銀行総裁会議（上海27日）「全ての政策手段総動員」< 4 >
具体策、各国に委ねる 「緩和頼み」厳しき増す 資本流出対策で指針作りに合意
ユーロ圏、日銀マイナス金利を暗に批判「競争的な切り下げにつながるのではないか」
中国「通貨切り下げ競争回避を確認できたことは重要」
- 02/29・G20声明に市場警戒解かず 原油安や中国問題解決遠のく
「政策総動員」実行力見定め円高・株安に
・東南アジア5ヵ国4.4%成長（10-12月）消費・公共投資下支え < 5 >
伸び率は前期より0.2ポイント上昇 4四半期ぶり前期を上回る
- 03/01・ユーロ圏物価0.2%下落（2月、5カ月ぶりマイナス）追加緩和を後押し < 6 >
原油安、成長も鈍化 マイナス金利拡大か 欧州中銀、10日に理事会
・中国が追加金融緩和 預金準備率4カ月ぶり下げ < 7 >
景気不安・上海株安に対応 人民元売り圧力も 発表直後3週ぶり安値

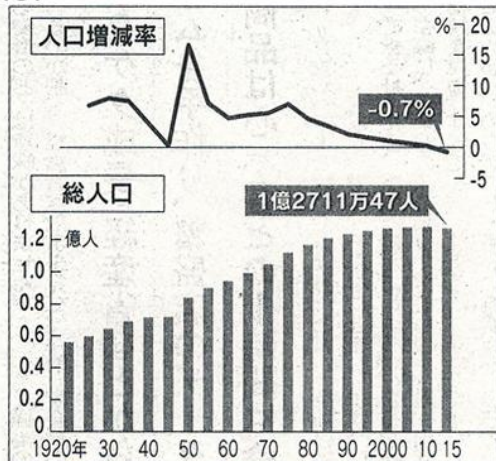
< 1 >



< 2 >



< 3 >



< 4 >

G20共同声明のポイント

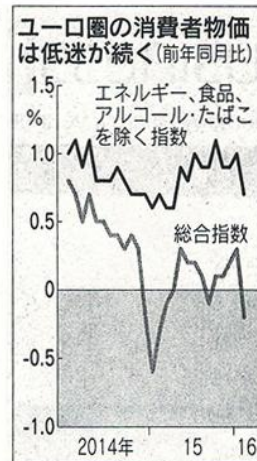
世界経済	
◦	経済見通しがさらに下方修正されるリスクが増している
◦	最近の市場変動は世界経済の実態を反映していない
経済・金融政策	
◦	成長押し上げへ金融・財政・構造改革を総動員
◦	金融政策だけでは成長は困難。機動的に財政出動を実施
◦	通貨の競争的な切り下げを回避
◦	資本移動の監視を強化

< 5 >

東南ア主要5カ国の15年のGDP伸び率			
	7~9月	10~12月	通年
インドネシア	4.5	5	4.8
タイ	2.9	2.8	2.8
マレーシア	4.7	4.5	5
シンガポール	1.8	1.8	2
フィリピン	6.1	6.3	5.8
5カ国の加重平均	4.2	4.4	4.3

(注) アジア開発銀行(ADB)調べ、前年同期比または前年比伸び率%

< 6 >



< 7 >

